

「日本、原発ゼロ再考を」

米CSIS所長が寄稿

核不拡散へ貢献責務

米戦略国際問題研究所(CSIS)のジョン・ハムレ所長は12日、日本政府が「2030年代に原発稼働ゼロを可能とする」ことを目指すエネルギー戦略策定に動いていることを受け、日本側は長島昭久首相補佐官の派遣して米政府に説明する考えだが、米国の懸念の強さを浮き彫りにした。寄稿の主な内容は次の通り。

先週、野田佳彦首相は日本のエネルギー源として原子力を放棄したい考えを示した。それが真摯に示された。

ジョン・ハムレの

0年生まれ。ジョンズ

クリントン政権で国防

次官、国防副長官。2000年から現職。

n Hamre

195

再生可能エネルギーなど天然ガス

石油

石炭

原子力

自然エネは不足

歴史的に日本はその近

代的な経済のエネルギー

基盤を欠いてきた。この

ため過去歴代の日本の

力的だが、日照時間は1

年のうちの半分にすぎな

いた。だからこそ、尋常でな

い自然災害が日本を襲つ

た後、原子力の惨劇が生

まれてしまった。多くの

日本国民は今なお、日本

が原子力規制に関する強

力な体制を欠いたままで

るため、長島昭久首相補

エネルギー政策を説明す

る。政府は12日、中長期の

エネルギー政策を説明す

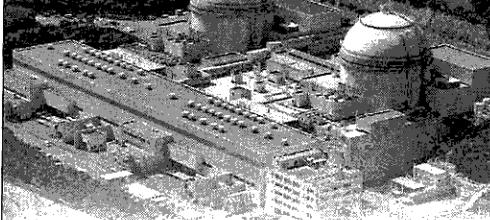
る。佐官と天皇博志内閣府政

務官を米国に派遣した。

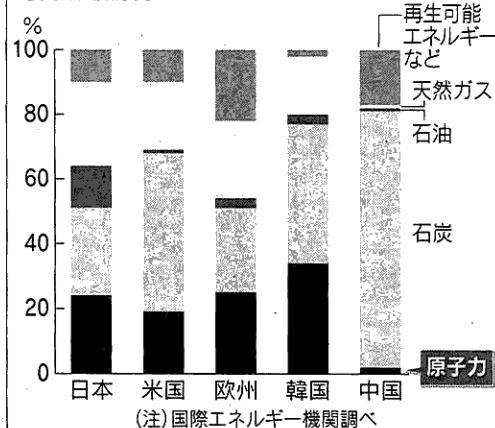
部らと会談し、「203

0年代に原発稼働ゼロ」

先進国では電力供給に占める原発の割合が2~3割にのぼる



写真は大飯原発



ジョン・ハムレ

195

n Hamre

195

年生まれ。ジョンズ

クリントン政権で国防

次官、国防副長官。2000年から現職。

n Hamre

195

年生まれ。ジョン